

平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精養軒

コード番号 9734 URL <http://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長

(氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 平成25年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年1月期第3四半期の業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	2,244	0.1	△86	—	△72	—	△78	—
25年1月期第3四半期	2,242	17.4	△27	—	△17	—	△17	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	△30.09	—
25年1月期第3四半期	△6.36	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年1月期第3四半期	3,875	—	2,772	—	71.5	1,065.87
25年1月期	3,848	—	2,818	—	73.2	1,083.42

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 2,772百万円 25年1月期 2,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において平成26年1月期の期末配当予想については、未定であります。

3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,028	△0.2	△81	—	△61	—	△68	—	△26.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想については、本日(平成25年12月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期3Q	2,628,000 株	25年1月期	2,628,000 株
26年1月期3Q	27,191 株	25年1月期	27,191 株
26年1月期3Q	2,600,809 株	25年1月期3Q	2,600,842 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3頁「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新政権による経済、金融対策への期待感から株価上昇、円高是正が進み、輸出企業を中心に業績の回復が見られました。また、2020年の東京オリンピック招致が決定し、中長期的に景気浮上を後押しするものと期待されています。

しかしながら、全産業的には、必ずしも景気回復の実感があるとは言えず、物価上昇や来年4月に控える消費税増税などが、景気の腰折れ要因になる可能性もあります。引き続き、景気動向を注視する必要があります。

飲食業界におきましても、本格的な業績の回復には至っておらず、原材料の高騰や光熱水費の上昇など、今後、収益を圧迫する懸念材料が存在することも否定できません。

そうした状況下、当社は、今年度「中期経営計画140」の2年目を迎え、新たな婚礼プランの拡販や各店の特性を踏まえた営業施策を展開し、業績の改善に努めて参りました。

しかしながら、当社の営業拠点である上野エリアにおいて、同業他社との販売競争が一段と激しさを増し、加えて、夏場の記録的な猛暑や大型台風により、第3四半期以降、業績面において、たいへん苦戦を強いられました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,244百万円(前年同期比0.1%増)となりました。営業損失は86百万円(前年同期は27百万円)、経常損失は72百万円(前年同期は17百万円)、四半期純損失は78百万円(前年同期は17百万円)となりました。

また、セグメント別の業績につきましては、下記のとおりであります。

(飲食業)

飲食業におきましては、当第3四半期累計期間のレストラン部門の売上高は1,306百万円(前年同期比0.1%増)、宴会他部門の売上高は905百万円(前年同期比0.4%減)、飲食業全体の売上高は2,211百万円(前年同期比0.1%減)、営業損失101百万円(前年同期は営業損失36百万円)となりました。

(賃貸業)

賃貸業におきましては、安定的な賃貸収入の確保に努めております。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は34百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益15百万円(前年同期比54.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ27百万円増加し3,875百万円となりました。流動資産は138百万円増加の1,332百万円、固定資産は111百万円減少の2,543百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が127百万円増加したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、長期預金100百万円が満期日まで1年以内となったため流動資産へ振替えたことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末と比べ73百万円増加し、1,103百万円となりました。流動負債は47百万円増加の334百万円、固定負債は25百万円増加の769百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、賞与引当金が36百万円増加したことによるものです。

固定負債の増加の主な要因は、繰延税金負債が18百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末と比べ46百万円減少し2,772百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失の計上等で利益剰余金が86百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が40百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成25年12月6日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当第3四半期累計期間において平成26年1月期の配当予想については、平成25年3月15日に公表しました「平成25年1月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別が困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,053,615	1,181,033
売掛金	73,435	77,351
たな卸資産	34,112	37,795
その他	35,414	38,054
貸倒引当金	△2,000	△2,100
流動資産合計	1,194,575	1,332,133
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	849,198	793,842
土地	603,191	603,191
その他(純額)	105,187	91,541
有形固定資産合計	1,557,576	1,488,574
無形固定資産		
投資その他の資産	2,996	2,342
投資有価証券	916,616	975,929
長期預金	100,000	—
その他	76,000	75,820
投資その他の資産合計	1,092,616	1,051,748
固定資産合計	2,653,189	2,542,664
資産合計	3,847,763	3,874,797
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,522	61,370
未払金	82,245	89,559
未払費用	67,673	68,411
未払法人税等	5,071	2,317
賞与引当金	32,000	68,000
その他	47,823	44,053
流動負債合計	286,334	333,709
固定負債		
退職給付引当金	546,730	543,156
役員退職慰労引当金	84,665	98,870
繰延税金負債	90,546	108,543
その他	21,728	18,404
固定負債合計	743,669	768,972
負債合計	1,030,003	1,102,681

(株)精養軒(9734)平成26年1月期第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	2,523,564	2,437,503
自己株式	△20,496	△20,496
株主資本合計	2,638,798	2,552,737
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	178,962	219,379
評価・換算差額等合計	178,962	219,379
純資産合計	2,817,760	2,772,116
負債純資産合計	3,847,763	3,874,797

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	2,241,763	2,244,378
売上原価	959,107	977,180
売上総利益	1,282,656	1,267,198
販売費及び一般管理費	1,309,287	1,353,549
営業損失(△)	△26,631	△86,351
営業外収益		
受取利息	1,166	760
受取配当金	4,068	4,547
受取保険金	—	3,681
雑収入	4,597	4,908
営業外収益合計	9,830	13,896
経常損失(△)	△16,800	△72,455
特別利益		
固定資産売却益	2,862	23
特別利益合計	2,862	23
特別損失		
固定資産除却損	995	884
減損損失	—	3,642
特別損失合計	995	4,526
税引前四半期純損失(△)	△14,933	△76,958
法人税、住民税及び事業税	1,600	1,300
法人税等合計	1,600	1,300
四半期純損失(△)	△16,533	△78,258

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	飲食業	賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,213,031	28,732	2,241,763	—	2,241,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,213,031	28,732	2,241,763	—	2,241,763
セグメント利益又は損失(△)	△36,418	9,787	△26,631	—	△26,631

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	飲食業	賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,210,681	33,697	2,244,378	—	2,244,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,210,681	33,697	2,244,378	—	2,244,378
セグメント利益又は損失(△)	△101,436	15,085	△86,351	—	△86,351

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。